



# Yap Paradise in Paradise

ヤップのワチュラブ村で、のんびりリゾートライフとダイビング

ヤップ、この島が好きになったのは、  
ダイビングが面白いからじゃない。  
こんなこと書くと誤解を招きそうだけど、  
島ののんびりさ加減がとんでも居心地がいいから、  
時には「ダイビングがどうでもよくなっちゃう」んだよね。  
部屋のベランダで、レストランに座って、  
ほっと海風を受けているだけで幸せになれる。  
そして、「そろそろ潜りに行ってみようかな〜」  
くらいな感じでダイビングをする。  
そんなスタイルが好きなお勧めなのが、  
ワチュラブ村にある、ヤップライズダイビングセンターだ。

Photo & Text: **Takaji Ochi** Model: **Nami**

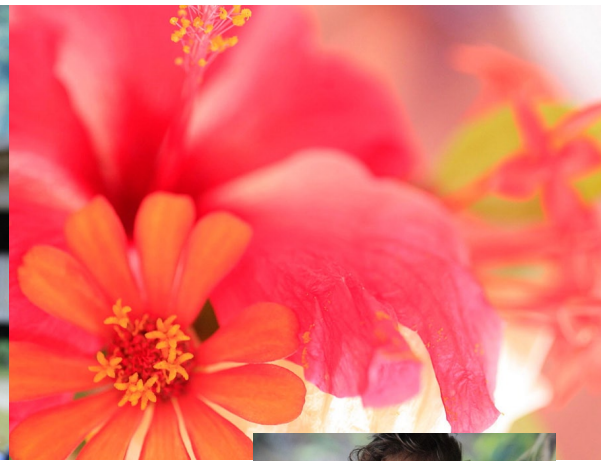
Special Thanks: **Yap Rize Diving Center, Village View Resort, Moon Rize Cafe** Design: **Sana**☆

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2009. Summer



Information Link 関連情報HPへ  
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RIZE-Web/index.htm>



## 子供たちの笑顔と花が似合う場所

高級リゾートはともかくとして、素朴な田舎の雰囲気満点のダイビングリゾートで、花に囲まれている印象がもっとも強いのが、ヤップという島であり、ワチュラブ村にあるヤップライズダイビングセンターだ。日常の周囲の雰囲気からは、そんなに花が沢山あるというわけではないんだけど、まず入国のときに、必ず伝統衣装を着たヤップ人の男女が、入国手続きを済ませた観光客全員に、ヌーヌーと呼ばれる花輪をかけてくれる。そして、帰国のときにも、滞在先のスタッフがヌーヌーを用意してくれていて、ゲストにかけてくれるのだ。それだけでも、ヤップ=花の島という印象が強くなる。

ライズダイビングセンターでは、何かイベントがあると、すぐにスタッフがヌーヌーを作ってくれたり、ヌーヌーやハンディークラフト作りの教室などもあって、どこからともなく摘んできた色とりどりの花々が、緑の芝生の上に広げられて、その上で、ヤップ人のスタッフが、ゲスト相手にヌーヌーの作り方を教えてくれる。見ていだけでも華やかな雰囲気、僕のカメラマンとしての視覚や嗅覚を大いに刺激してくれる。

いつも家族で訪れているヤップ、「最近親子で来るゲストも増えたよ〜」とオーナーガイドの紹美大介君（以下大ちゃん）が、嬉しそうな困ったような顔で僕を見る。だってしょうがないよ。ここ、子供を連れてくるには、最高の環境だもんね。海は遠浅だし、車が来ても時速5キロくらいしか出してないし。第一ほとんど来ないし。犬は放し飼いでけど、特に危険を感じたことないし。自然が多くて最高だもん。一番気をつけなければいけないのは、落下してくるヤシの実かな。風の強い日には気をつけたいね。

花に包まれた子供たちの無邪気な笑顔は、国境を越えて幸せになれるはず。上手く言えないけど、自分のためではなく、人のために何かしてあげたいと、素直に思えるようになるんだよ。ワチュラブ村は、そんなところですよ。

- 01/ここに来ると、日本から来た子供たちの瞳が輝き始める
- 02/ヌーヌーを作ってもらって、得意満面
- 03/地元ヤップの子供たちの素直な笑顔に癒される
- 04/何かに夢中になっている時の、子供たちの笑顔は最高だ
- 05/こんな自然の中で子供を育てたいと思うこともある
- 06/初めて来て不安だった子供も、少しずつ笑顔になってくる

ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

# Yap Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer



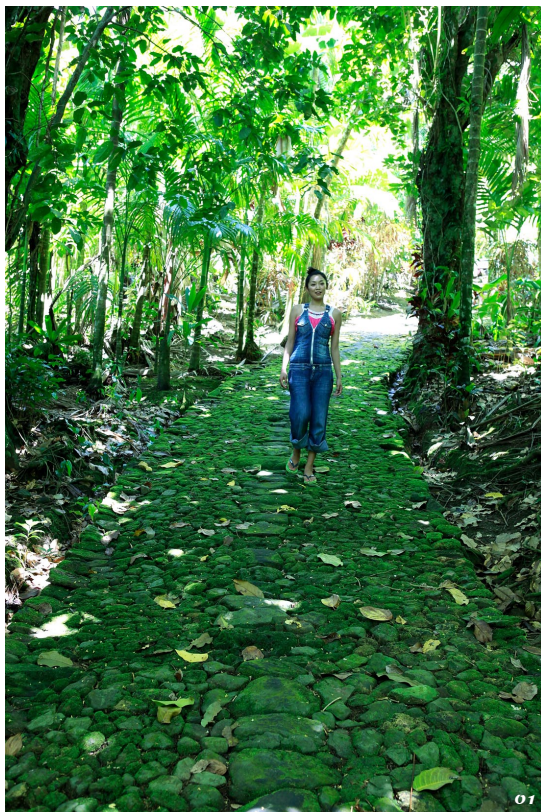
Information Link <http://www.rizedivingcenter.com/JP-RIZE-Web/index.htm>

# ストーンマネー、ストーンパス、ヤップダンス…、 伝統文化 やっぱ、ヤップは陸が面白い

ワチュラブ村から離れて、島内を散策してみる。大ちゃんは、「俺は海担当だから…」と言ってなかなかついて来ないのだけど、僕はヤップの島を散策するのは大好きだ。特に好きなのは、ストーンパス。村と村をつなぐ石畳の道なのだけど、風情があっていい。鬱蒼としたジャングルの中にあるのだけど、なんだか日本の神社やお寺につながる参道のような雰囲気です。とても懐かしい感じがするし、

なんだか妙に神聖な雰囲気が漂っている。

その先にあるのが、海岸沿いに立つ伝統的建造物のメンズハウス（男性集会所）だったりするのだけど、建物それ自体よりも、そこにつながる空間としてのストーンパスに、僕は心ひかれたいりするのだから。苦むした感じも好きだし、なんだか妙に落ち着く。



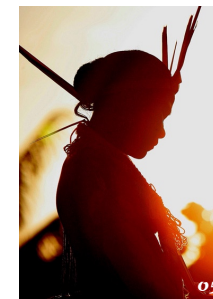
01/アミン村のストーンパス。ジャングルの木々に覆われた雰囲気が好き  
02/伝統学校で作られている、伝統のカヌー  
03/バンブーダンスを踊る若者たち



04/キマキ村のストーンマネーバンク。巨大なストーンマネーが沢山並べられている

ヤップでは、ストーンマネーが今だに、使われている。といっても冠婚葬祭や土地の売買などのみで、日常生活はUSドルが使われているのだけだね。ストーンマネーは、ヤップから500キロほど離れたパラオから切り出されて持ってこられた石のお金。このストーンマネーが沢山集まっている場所がそれぞれの村にある。それがストーンマネーバンク（石貨銀行）。僕たちが訪れた、マキ村のストーンマネーバンクは、ストーンパスの途中で、十字路になっている場所があって、そのコーナーから、四方に沢山のストーンマネーが並べられている。4つのコーナーが全て別の村に所属しているそうで、昔は他の村との戦いのときなどに、このコーナーにそれぞれの村の長が集まって、戦士を貸す代わりに、ストーンマネーの所有権を譲りうけたりという話合いが持たれたりもしたそう。

その他にも、伝統的カヌー造りや、いつも見れるわけではないのだけど、ヤップダンスなど、伝統を重んじるヤップの人たちの思いが感じられる多くのものを目にする事ができるから、他のミクロネシアの島よりも、島内散策してみたくなるんだよね。



05/バンブーダンスの始まりを待つ女性  
06/夜に行われたメンズダンス



ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製・二次使用を禁じます

Yap  
Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer



Information Link <http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/index.htm>

# マンタは元気？

そろそろ海の話进行しようか

交尾のために集まったマンタたち。一番先頭を行くのがメスで、残りはオス。ミルチャネルにて

ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

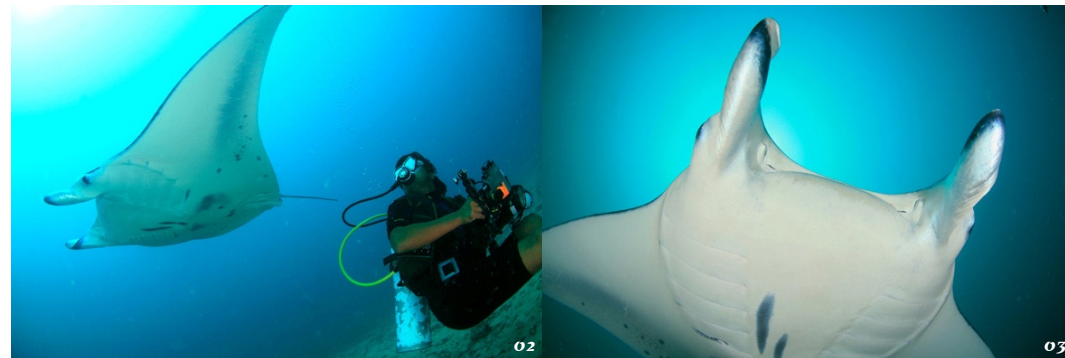
©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Yap  
Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer



Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/index.htm>



01/ 悠然とチャネルの中を泳ぐマンタ  
02/ クリーニングステーションでは着底して、マンタを驚かせないようにすれば、向こうから近寄ってくることも  
03/ 目の前まで接近してきた、マンタ

## そろそろ海の話をしようか

# マンタは元気？

島の上の話ばかりしちゃったけど、そろそろ海の話をしてあげよう。ヤップは陸が好きだから、ついつい陸の話に集中しちゃうんだよ。ヤップと言えばマンタというのが、ダイバーの間に浸透しているけど、実際のところはど  
うなの？ってよく聞かれる。

すでにヤップには7回くらい訪れていて、西と東のマンタポイントのミルチャネルやゴフヌチャネルは、それぞれ100本以上は潜っていると思うし、ガイドもできるくらい潜りこんでる。どこに何があるかは十分把握してるつもりだけど、ことマンタに関しては、正直いつがいいのかよくわからない。


一応シーズンとしては、北東から風が吹く冬（12月～4月）にかけてが、西にあるミルチャネル、何西から風が吹く夏（5月～11月）にかけては東にあるゴフヌチャネルでマンタを多く目撃することができる。特に12月から4月は、マンタの繁殖期で、多いときには、チャネルの中に1ダースほどのマンタが群れてたり、繁殖行動を見せてくれたりする、というのが定説。

自分も過去に、マンタ遭遇率90%以上をキープしていた頃もあったけど、やっぱりまったく見れないときもあるんだよね。それが「いつ頃なの？」と聞いても、現地ガ

イドも「最近はおめない」と言われるばかり。まあ、運次第ってところかな。

近くでマンタを見やすいのは、幅の狭いゴフヌチャネルだと思うから、これからの時期がシーズンだね。クリーニングステーションにやってきたマンタが、頭上でホバリングしてくれることもあるかもしれない。

ミルチャネルは、幅も広くて水深も深いけど、繁殖行動にも興味はあるから、その時期に行くのもいいかもしれない。どちらにしても、ヤップライズダイビングセンターからは、ボートでミルチャネルが15分、ゴフヌチャネルが5分ちょっとと、とても近いし、1年中どちらかのポイントでマンタが見れる可能性があるの、「いつがマンタのベストシーズンですか？」という質問には「1年中見れる可能性があります。運次第だね」としか答えようがない。チャネルの中の透明度が上がるのは、潮の出入りの激しい大潮周りだから、少しでも透明度が高い時期を狙いたいなら、大潮を狙って行くのがいいんだけど、「最近透明度良いとマンタいないんだよね～」みたいなのを大ちゃんと言ったりするので、ちょっと不安にもなるんだよね。

ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

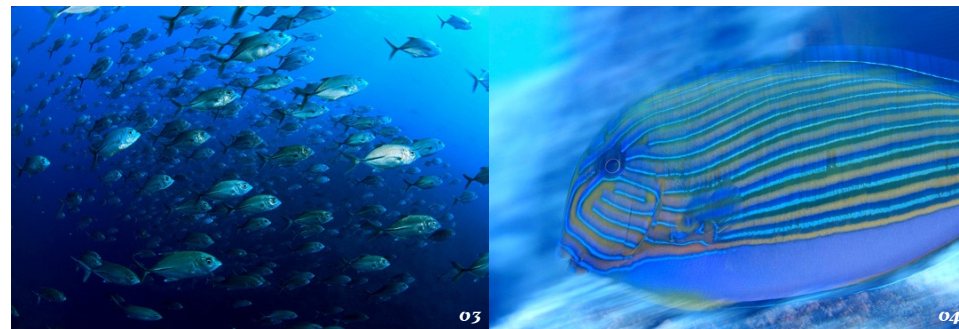
Yap  
Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer

 Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RIZE-Web/index.htm>



# Channel



- 01/あまり、気づかないが、チャンネルの上のリーフのサンゴは、意外に元気
- 02/ミルチャンネルには、海底に2か所、ストーンマナーが沈んでいる場所がある
- 03/マンタリッジに群れるギンガメアジ
- 04/ニジハギ。マンタリッジでは、近くで観察できる
- 05/ミルズのディープクリーニングステーションで見られるクジャクスズメダイ
- 06/同じく、クダゴンベ
- 07/アカヒメジ同士の噛み合い



## ヤップの海の脇役？たち

大ちゃん次第だけど…

マンタを見るのは、チャンネルの中。つまりサンゴの環礁に囲まれた内海。ヤップはあまり生物の種類が多いようには思えない海底環境だし、大ちゃんを筆頭に、今いるライズのガイドたちは、あまり小さい生物に詳しいわけでは無いので、マンタ一筋でマンタが出ないときに何をみればいいのかとかあまり考えてないので、こちらも出ないときに何を撮影すればいいか困るときがある。

ということで、今回はちょっとそんな脇役？たちの紹介もしてみたい。まずミルチャンネルのディープクリーニングステーションでマンタ待ちしてるときには、クダゴンベや見る角度によって、色彩が変わるクジャクスズメダイなど。同じウミウチワの中にいるので、その近くでマ

ンタ待ちしていれば、まあたどぼ〜としていなくて済む。もちろん大ちゃんがちゃんと教えてくれればの話だけどね。

ミルチャンネルの中でも、一度9mくらいの水深まで浅くなるマンタリッジの浅場には、結構様々な魚が群れていて、安全停止しながら観察しているのが面白い。取材中もアカヒメジの群れの中で、なぜか噛みあって争ってる2匹がいて、何度も何度も繰り返しているのが面白かったし、カラフルなニジハギが群れていて近づけたりと、観察するのも、撮影するのも楽しい。

マンタリッジ周辺では、潮の流れによって、外側か内側に、ギンガメアジやインドオキアジ、バッファローフィッ

シュの群れなどが見れるので、こちらを狙いたいなら、やはり少しでも透明度の増す、大潮の頃がお勧めだ。

東のゴフヌチャンネルでは、アウトカレントのときにエントリーする場合、エントリーポイントのサンゴや、メインのクリーニングステーションの上のリーフのサンゴが意外と美しかったりする。サンゴを見せるダイビングをしないので、あまり気にかけていなかったけど、透明度が良ければ、かなり写真映えすると思う。

大潮時期の夕刻に行くと、シマハギやヒラニザなどのハギ系の魚が大きな群れを作って繁殖行動を行っているのも、それも見ものだったりする。



ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

Yap  
Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer



01/個体数も多い、キイロサンゴハゼ  
02/サンゴの間から顔を出す、イシガキカエルウオ  
03/大仏の頭のようなサンゴ

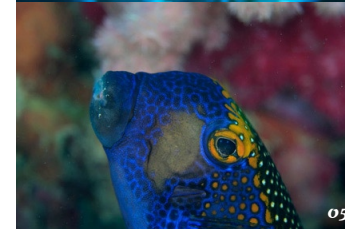
チャンネルによって外洋と結ばれた、ラグーンの中のポイントは、流れの無い穏やかな癒し系のポイントが多い。ブルーホールは、完全なるマクロオンリーのポイント。浅い砂地に点在するサンゴの根をのんびりと移動しながら、マクロウォッチングを楽しむ。決して変わった魚がいるわけではないのだけど、テンジクダイ系の種類は豊富。ラグーンの中で、流れも無く、浅いので、ストレスフリーでダイビングを楽しめる。サンセット後には、ニシキテグリの産卵行動も観察できるポイントだ。水深も深くても15m程度。ほとんどの場合が、5m前後のサンゴの根が点在す

る浅瀬を、ゆったり、ゆったり移動する。「何かを見る」というよりは、ゆりかごの中にいるような、ふわふわした安心感を感じながらダイビングを楽しむことをお勧めする。とは言っても、僕は撮影しなければいけないので、魚を探しているのだけど、撮影を終えて、ふと大ちゃんがいる方に視線を移すと、ビギナーダイバーの女の子たちとじゃれあっている姿が目に入る。(うらやましいな〜) と思いながら、また視線を魚たちにもどし、黙々と撮影を続ける。まあ、カメラマンだからしょうがないよね。でも、小さな魚たちもかわいいもんね〜た。

# のんびりマクロ



04/ソフトコーラルもかわいい  
05/突然、ファインダーの中に顔を出したハコフグ  
06/ウミガメとも頻繁に遭遇する



07/島の高台から見たラグーンの海の色はパステル調で美しい

## ストレスフリーのダイビング



ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

Yap  
Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer



Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/index.htm>

# ヘルフリッチが異常発生!?

冬の外洋ポイントとして、どこのサービスも頻繁に潜っているのが、パーティゴ。ミルチャネルの入口から、南へ5分くらい移動したリーフ際のドロップオフポイントだ。サービスによっては、シャークフィーディングを行っているため、大いときには、20～30匹ものグレーリーフシャークが間近まで接近してくるので、ちょっと緊張するかもしれない。

しかし、普通に潜っていれば、まったく問題は無いから心配無用。サメたちと一緒に、透明度の高い外洋の海で浮遊感を楽しむには最高のポイントだ。リーフトップでも、ブラックチップシャークがうろちょろしてたりするし、ときにはシマハギやブダイが集団で捕食してるシーンなんかに遭遇することもあって、結構楽しめる。

最近、このポイントで驚いたのが、水深35m～45mくらいにマクロネタ探しに降りたときのこと。以前何度も潜っていたので、あまり期待していなかったのだけど、今回(2009年3月末)に潜ったところ、今までほとんど見ることのなかったヘルフリッチを大量に発見した。大量ってどれくらいかっていうと、そのエリアだけで、僕が数えただけで50匹は下らないくらい。「え～、それって本当なの？」って思うかもしれないけど、本当です。

今までに何か所でこんな数のヘルフリッチ見たのは初めてだ。それも、過去にはまったくいなかったような場所なのに。もう、ある意味異常発生したとも言えるくらいの数。これがいつまで続くのかが心配ではあるけどね。

いつまで続くか?



02



01



03



04

05

- 01/ 集団で捕食を行うシマハギ。パーティゴではリーフトップでよく見かける
- 02/ ブルーウォーターには、数匹、ときには数十匹のグレーリーフシャークの姿が
- 03/ 水深35mから異常なくらいの個体数を目撃したヘルフリッチ
- 04/ 水深30m付近にいるハナゴンベ
- 05/ 外洋で、青い海の浮遊感を満喫する

Ocean  
Yap  
Paradise in Paradise

ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2009. Summer



Information Link <http://www.rizedivingcenter.com/JP-RiZE-Web/index.htm>




# Wenig moy nga waab!

## ヤップに来てね!



ヤップダンスの練習を終えた子供たち。頼んで集まってもらって記念撮影をさせてもらった

ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

# Yap Paradise in Paradise

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Web-lue 2009. Summer



Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RIZE-Web/index.htm>

# Information

## ヤップライズダイビングセンター

ヤップの空港からは車で40分。ヤップでは、中心地コロニアから離れた場所にある唯一のダイビングサービス。ワチュラブ村の中心にあり、遠浅のビーチが目の前にある。オーナーガイドの紹美大介君は、マンタ以外はあまり興味が無い男。しかし、ことマンタにかけては命がけ？ スタッフのユキちゃんは、マーシャルでのガイド経験もあるのだけど、癒し系ののんびりさを通り越して、僕は幽体離脱系ガイドを呼んでくるくらいにペースがのろい、いやとろいことしばしば。そのスローライフペースにハマるかハマらないかで、ここでの居心地の良さが大きく左右される。



05/ 以前とシェフが変わり、さらに美味しくなった、ムーンライズカフェ

## ムーンライズカフェ

ライズダイビングセンターとビレッジビューリゾートのちょうど真ん中にあるレストラン。

メニューはカツドンやうどん、焼きスパ、カレーライス、鉄板焼きなど、和食中心。シェフはフィリピン人のアレックスさん。人に自分の料理を食べてもらうことが大好き。リクエストすれば、何か特別なものをアレンジしてくれるかも。



06/ 素朴なたたずまいは、リゾートと言うよりは民宿

- 01/ ヤップライズダイビングセンターのダイビングボート。右はガイドのユキちゃん
- 02/ ダイビングショップと、レストランのスタッフ。少し関係者以外の人もいるけど…
- 03/ オーナーガイドの大ちゃんは、2009年4月にヤップで結婚式を挙げた
- 04/ トップの写真を撮影していたら「俺もやれて～」と言って女装した大ちゃん。こんなショップです



## ビレッジビューリゾート

リゾートというよりは民宿的な居心地の良さがある、ライズ隣接のリゾート。部屋は現在10部屋が受け入れ可能。6～7年前から改装工事を行っているのだけど、オーナーが自らコツコツと手掛けているために、今だに完成には至っていないのがご愛敬。クーラー、冷蔵庫、シーリングファン、ホットシャワーなどは常設。ただヤップなだけに、たま～に断水したり、停電したりするのもご愛敬。

ヤップのワチュラブ村で、  
のんびりリゾートライフとダイビング

# Yap Paradise in Paradise

Web-lue 2009. Summer

## Presents プレゼント



今回、ヤップライズダイビングセンターからのプレゼントは、ハンディークラフトのバッグ3つと新しいヤップライズダイビングセンターのTシャツ(黄色オンリー)SサイズとMサイズ。ご希望の方はお問い合わせページより、ヤップのプレゼント希望と明記の上、お名前、ご住所、など記載してご連絡ください。当選結果は発送を持って代えさせていただきます。